

# 分会情報

J R 東海 労 大 阪 仕 業 検 査 車 両 所 分 会  
No. 5 0      2 0 1 2 . 3 . 3 0  
発 行 責 任 者      柿 本 克 彦  
編 集 責 任 者      教 宣 部

## 3. 27 車 両 所 4 分 会 合 同 職 場 集 会 開 催 !

60 歳 定 年 退 職 後 の 継 続 雇 用 の 実 現 に 向 け !



( 仕 業 検 査 車 両 所 、 柿 本 分 会 長 )



( 東 海 労 本 部 、 小 林 書 記 長 )



( 関 西 地 本 、 小 林 委 員 長 )

## 国 会 議 員 へ の 要 請 行 動 報 告 !



参 加 さ れ た 組 合 員 の 皆 さ ん 大 変 お 疲 れ 様 で し た 。

**3月19日、JR総連萩原副委員長と淵上本部委員長、小林新幹線関西地本委員長は、希望する全社員が65歳まで雇用が実現されるように、民主党の初鹿明博衆議院議員に要請を行いました。これは2月15日に、組織内議員の田城郁参議院議員の力添えと、JR総連の協力のもとで、民主党など160名を超える国会議員への要請行動の結果において実現しました。**

**今回の初鹿議員への要請では、今国会で審議されている高齢者雇用安定法改正法案において、60歳定年後の再雇用対象者基準が、経過措置として盛り込まれていることに対し「法改正の趣旨に反する内容である」「再雇用基準は法改正に合わせてリセットすべきである」ということなどを強く訴えてきました。初鹿議員は「経過措置は趣旨に反し、おかしいと思う」「JR東海の再雇用基準はあまりにも厳しすぎる」などと述べられ、「希望者全員が継続雇用されるよう努力していきたい」と私たちの要請に応じていただきました。**

**また、新党きずなの小林正枝衆議院議員は3月7日、私たちの要請を受けて、衆議院厚生労働委員会の場で、「平等に継続雇用の機会が与えられるよう、企業に義務付けを課すべき」「企業の恣意的な選択で継続雇用が妨げられることがないよう」との発言をしていただきました。**

**私たちは、不当なボーナスカットを繰り返し、JR東海労組合員を専任社員として採用しない組織破壊攻撃を許さず、65歳までの完全雇用の実現と、不当なボーナスカットを跳ね返す闘いとして、2012JR春闘を闘い抜きましょう！**

**<JR東海労ニュースNo1680>**